

でんしゃ 電車

URL : <https://youtu.be/yWsKQfzB-ro>

今回は「電車」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には " ふりがな " があります。
後半は少しだけ速く (+20%) なり、漢字に " ふりがな " はありません。
学習にお役立ててください。

■ 私のこと

私の名前はワン・ヤーです。中国からきました。今は東京の町に住んでいます。
東京はとても人が多い町です。毎日、駅や道でたくさんの人を見ます。はじめは人の多さに少しびっくりしました。でも、今はだいぶなれました。
東京には駅がたくさんあります。家の近くにも駅があります。私は毎日、その駅から電車にのります。朝、家を出て、駅まで歩いて行きます。駅までの道には、店や会社があります。朝は急いで歩く人が多いです。

駅に着くと、電車を待つ人がたくさんいます。人が多い時もありますが、みんなならんで待ちます。電車が来ると、じゅんばんにのります。電車にのると、行きたい場所へ行くことができます。日本の駅には、あんなが多くありません。行き先やホームがはっきり書いてあります。はじめての人でも、見てわかります。時間も分かりやすく、安心して使えます。

■ 電車はどんなもの？

電車は電気で動くのりものです。ガソリンは使いません。せんろの上を走ります。電車は、人を運ぶためののりものです。一つの電車に、たくさんの方がのります。朝や夕方は、学校や会社へ行く人が多く、とてもこんでいます。立ってのり人もたくさんいます。

電車は、町と町をつなぎます。近い町にも、とおい町にも行くことができます。日本では、駅がたくさんあり、町どうしが電車でつながっています。そのため、毎日ちがう町へ通う人もいます。電車がないと、学校や会社へ行くのがむずかしくなる人もいます。

電車は、みじかい時間で目的の駅に着きます。来る時間も、だいたい決まっています。じこくひょうを見ると、何時に来るかが分かります。だから、学校や会社へ行くとき、よていを立てやすいです。雨の日やあつい日でも、同じように使うことができます。

このように、電車は日本の生活に合った大切なりのものです。多くの人が毎日使い、生活を支えています。

■電車を使ういろいろな場面

私は学校へ行くときに電車を使います。朝、駅へ行き、電車にのって学校へむかいます。毎日同じ駅、同じ道なので、安心して行くことができます。電車の中では、勉強をしたり、音楽を聞いたりして、しずかにすすむ人が多いです。

電車は仕事に行くときにも使われます。朝は会社へむかう人が多く、駅や電車がこんでいます。夜になると、仕事を終えた人たちが家へ帰ります。その時間も、電車にはたくさんの人がのります。

また、電車は旅や出かけるときにもべんりです。ちがう町やとおい町へも、電車で行くことができます。道を考えるひつようがないので、車より楽だと感じるときもあります。

友だちに会うときも、電車を使います。駅で待ち合わせをすることが多いです。電車は来る時間が決まっているので、やくそくの時間を合わせやすいです。このように、電車は毎日の生活の中で、さまざまな場面でやくに立っています。

■電車をよく聞くことば

駅や電車では、よく聞くことばがあります。まず「ホーム」ということばです。ホームは、電車を待つ場所です。せんろのとなりにあります。ホームにはばんごうがあり、「〇ばんホーム」と言われます。アナウンスで聞くことが多いです。

「行き先」ということばも大切です。これは、電車がどこへ行くかという意味です。電車の前や、駅の中の画面に書いてあります。まちがえないように、のる前を見ると安心です。

駅では、「この電車は〇〇行きです」というアナウンスがあります。〇〇は町や駅の名前です。また、「まもなく電車が来ます」というアナウンスもあります。電車がすぐ来るという意味です。

電車の中では、「次は〇〇駅です」というアナウンスがあります。おりの駅が近いことがわかります。「お出口は右側です」と言われることもあります。ドアが開く場所を知らせています。

このようなことばやアナウンスを知っていると、まよいくくなります。日本の駅や電車は、あんないが多いです。ことばの意味が分ると、電車をもっと安心して使うことができます。

■ 駅での行動とルール

駅では、ホームでならんで電車を待ちます。多くの人はいちれつにならび、前の人のうしろに立ちます。ゆかにせんが書いてあり、そのせんにそってならびます。はじめて来た人でも、ならび方がわかります。

電車が来たら、先に電車からおりる人を待ちます。中から出る人がすべておりてから、のる人が中に入ります。日本では、このじゅんばんを大切にします。いそいでいても、先にのらない人が多いです。

日本の駅で少しめずらしいと感じるのは、こんでいても大きなこえを出さないことです。人が多くても、しずかに待つ人が多いです。また、駅では走りません。人が多く、あぶないからです。まわりの人を見て、ゆっくり動きます。

このような行動は、自分のためだけではありません。まわりの人を大切にする気持ちから生まれています。駅をみんなで安心して使うために、日本ではルールがしぜんにもまられています。

■ 車内で大切なこと

電車の中では、音に気をつけます。大きなこえで話したり、音を出したりしません。電話は出ない人が多く、メッセージでれんらくします。電車には、子どもから大人まで、いろいろな人がのっています。

日本の電車でとくちょうてきなのは、こんでいてもしずかなことです。人が近くにいても、私語は少なく、おちついた空気があります。多くの人が、まわりの人を見て行動しています。

電車の中がせまいときは、体を少しずらしたり、かばんを前に持ったりします。これは、後ろの人のじゃまにならないためです。ドアの前に立ちつづけないようにして、人が出やすい場所をあけます。また、日本では、電車の中で食べない人が多いです。においや音が、まわりの人をめいわくになるからです。こうした行動は、きまりというより、思いやりとして守られています。

電車は、みんなで使う場所です。一人だけの場所ではありません。まわりを人のことを考えて行動すると、電車の中は安心して気持ちのよい場所になります。

■ 朝のこんだ時間

東京の朝の駅は、とても人が多いです。学校へ行く人や、会社へ行く人が、同じ時間に集まるからです。とくに朝7時から9時ごろは、とてもこんでいます。朝の電車では、一つのしゃりょうに、とても多くの人がかかります。場所によっては、150人以上の人が同じしゃりょうにのることもあります。中はとてもせまく、立つ場所も少なくなります。体がうごかしにくく感じることもあります。

東京ほどではありませんが、地方の電車でも、朝の時間はこんでいることが多いです。町が小さくても、朝は電車がいっぱいになることがあります。

旅行や出かけるために電車を使うときは、朝のこんだ時間をさけたほうが楽です。少し時間をずらすと、すわることができたり、ゆっくり動いたりできます。日本で電車を使うときは、時間をえらぶことも大切だと感じます。

■日本の電車のすごい点

日本の電車は、時間に正しいことで知られています。多くの電車は、じこくひょうのように書いてある時間どおりに来ます。早く来たり、おそくなったりすることは、あまりありません。そのため、まつ時間が分かりやすく、安心して駅で待つことができます。

東京の電車は、本数がとても多いです。電車にのりおくれでも、少し待てば、つぎの電車が来ます。長い時間、ホームで待つことが少ないです。いそいでいるときでも、気持ちがあせりにくいです。

また、電車の中や駅は、いつもきれいです。ごみが少なく、においもあまりありません。多くの人が毎日使っているのに、気持ちよく使える所がすごいと感じます。子どもから大人まで、だれでも安心してのれるのが、日本の電車です。

■電車があるからできること

電車があると、早くいどうすることができます。歩くよりも少ない時間で、目的の場所につきます。毎日、学校や会社へ通うことができます。雨の日やあつい日でも、同じように使えるのもべりです。

電車を使うと、とおい町へ行くこともできます。住んでいる町から、べつの町へ行き、買い物や旅を楽しむことができます。車がなくても、電車だけで生活できる人もいます。

また、電車は、まよいにくいです。駅の名前や、行き先がはっきり書いてあります。つぎに止まる駅も分かります。何時に来るかが分かるので、1日のよいてを立てやすいです。電車があることで、生活がととのいます。

■日本の生活と電車

日本の生活では、電車がとても大切なやくわりをしています。朝になると、多くの人が電車にのるために駅へむかいます。夕方になると、仕事や学校を終えた人が、電車で家へ帰ります。電車は、日本の一日の生活のながれをつくっています。

日本で電車が使われ始めたのは、今から100年以上前です。電車が通る場所に駅が作られ、そのまわりに家や店がふえました。学校や会社も、駅の近くに作られることがおくなりました。このように、電車に合わせて町が広がり、今の日本の生活が作られてきました。

電車は、家と学校、家と会社をつなぎます。町と町もつなぎます。日本の生活に合った大切なりのものです。電車があるから、多くの人が毎日、安心して生活することができます。私にとっても、電車は日本での生活に欠かせない存在です。

■電車と私のこれから

明日も私は電車にのります。いつもの時間に家を出て、いつもの駅へ行きます。毎日同じことをくり返す中で、日本の生活に少しずつなれてきました。電車を使うと、行き方が分かりやすく、安心して動くことができます。

電車の中では、日本語を目にすることが多いです。駅のかんばんに書いてある日本語を読んだり、アナウンスを聞いたりします。はじめは分からないことばもありましたが、毎日見ることで、少しずつ分かるようになってきました。分かることばがふえると、うれしい気もちになります。

電車にのる時間は、私にとって大切な学ぶ時間でもあります。日本語だけでなく、日本の生活のリズムも感じます。人の動きや、しずかな空気から、日本らしさを知ることができます。

電車は、私の毎日をたすけてくれます。行きたい場所へ行く力をくれます。そして、日本での生活をつづけていくために、私を支えてくれます。

「電車」^{でんしゃ} はいかがでしたか。
コメント欄^{らん}から感想^{かんそう}をみんなに^{おし}教えてください。
それでは、また別の^{べつ}動画^{どうが}でお会い^あしましょう。



Easy Japanese-listening-SUSHI

